

Cisco Unified MeetingPlace Express 1.2

Cisco Unified MeetingPlace[®] Express は、統合型音声/Web 会議ソリューションであり、社内ネットワークに展開することにより、コストを削減し、生産性を向上します。シスコ ユニファイド コミュニケーション システムの一部である Cisco Unified MeetingPlace Express は、シンプルで強力な会議機能が特徴で、導入および管理が容易です(図 1)。

シスコ ユニファイド コミュニケーション ファミリにおける音声、ビデオ、および IP コミュニケーション製品およびアプリケーションは、ビジネス プロセスの短縮、適切なリソースの迅速な活用、およびコストの削減と収益性の拡大を支援することで、コミュニケーションを円滑にします。シスコ ユニファイド コミュニケーション システムは、包括的な統合ビジネス コミュニケーション ソリューションに不可欠です。シスコ ビジネス コミュニケーション ソリューションは、ネットワーク インフラストラクチャ、セキュリティ、ネットワーク管理の各製品、無線接続、ライフサイクル サービスなどから構成されます。

図 1 会議を最大限に効率化する Cisco Unified MeetingPlace Express



製品概要

生産性の向上、業務の迅速化

Cisco Unified MeetingPlace Express を使用すると、いつでも、どこでも、誰とでも会議ができるので、コミュニケーションおよびコラボレーションが円滑になります。バーチャルな会議を日常のコミュニケーションに取り入れることで、企業はマーケット リーチの拡大、業務効率の向上、および迅速な意思決定を実現できます。電話と Web ブラウザを使用するだけで、社内でのコラボレーション、顧客への製品やサービスのデモンストレーション、および説得力のあるプレゼンテーションを行うことができます。Cisco Unified MeetingPlace Express では、会議の管理および制御機能が Web インターフェイスと Cisco Unified IP Phone インターフェイスに直接組み込まれているので、バーチャルな会議の効率も向上します。

コストの削減とセキュリティ

Cisco Unified MeetingPlace Express は社内、すなわち企業の統合型 IP ネットワークに配置するため、サービス プロバイダーに支払う会議用電話料金やサービス料金を減らすことにより、コストを削減できます。また、Cisco Unified MeetingPlace Express では、Secure Sockets Layer (SSL) 暗号化、ファイアウォール越しの構成、および豊富な会議セキュリティ オプションによって、会議のセキュリティが保証されます。

容易な展開と管理

Cisco Unified MeetingPlace Express は、業界標準プロトコルである H.323 および Session Initiation Protocol (SIP) に対応しており、1 台のサーバにインストールして、Cisco Unified CallManager や Cisco Unified CallManager Express など幅広いテレフォニー システムと接続できます。また、Cisco Unified CallManager のディレクトリと統合すると、User Authentication (uauth; ユーザ認証) およびプロファイル セットアップが自動化され、プロファイル 管理も簡素化されます。Web ベースの管理機能には、レポート作成、会議のモニタリング、診断、インターフェイスの設定などがあります。

主な機能と利点

シンプルな会議セットアップと出席

Cisco Unified MeetingPlace Express では、会議のセットアップおよび出席のために Microsoft Outlook、Web、Cisco Unified IP Phone、およびプッシュホンのインターフェイスを利用できます。会議開催者は、どのインターフェイスからでも 1 回の操作で即座に(予約なしで)音声会議および Web 会議を開始できます。この予約なし会議機能では、ユーザに一意に割り当てられる ID を使用すると、いつでも会議を開始できます。また、個別の会議あるいは定期的な会議についても、会議の予定を Microsoft Outlook または Web インターフェイスからスケジュールすることができます(図 2 Microsoft Outlook の例)。会議をスケジュールすると、会議情報とリンク(ワン クリックによる出席が可能)が添付された E メール通知が出席候補者に自動送信されます。これにより、まるで会議室の窓ごしに参加人数を確認するかのようになり、参加者が何人いるのかが事前にわかります。参加する場合は、ワン クリックするだけで、音声と Web の両方の会議に参加できます(図 3)。

図 2 Microsoft Outlook から音声および Web 会議を簡単に設定

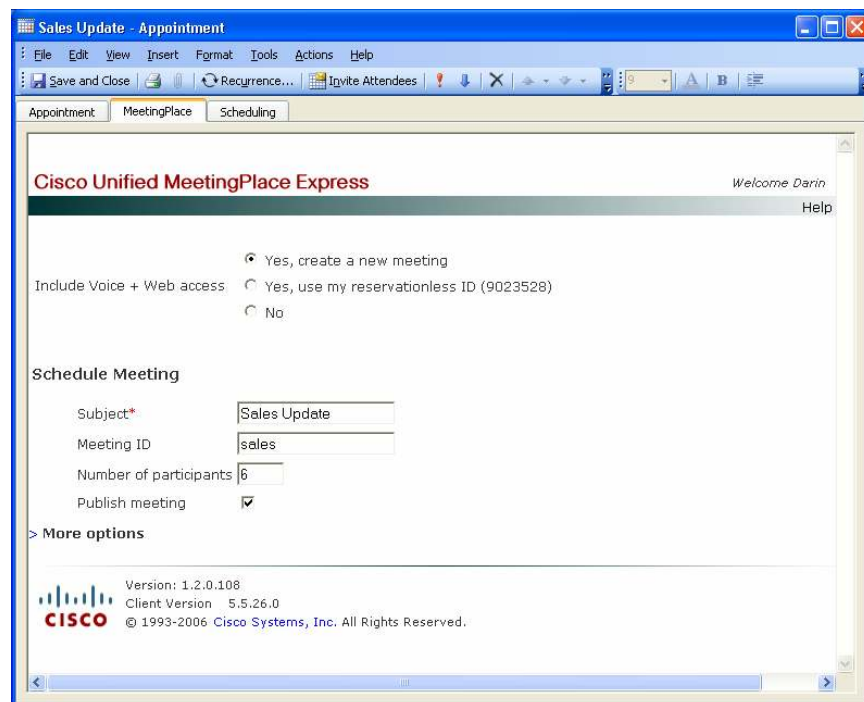
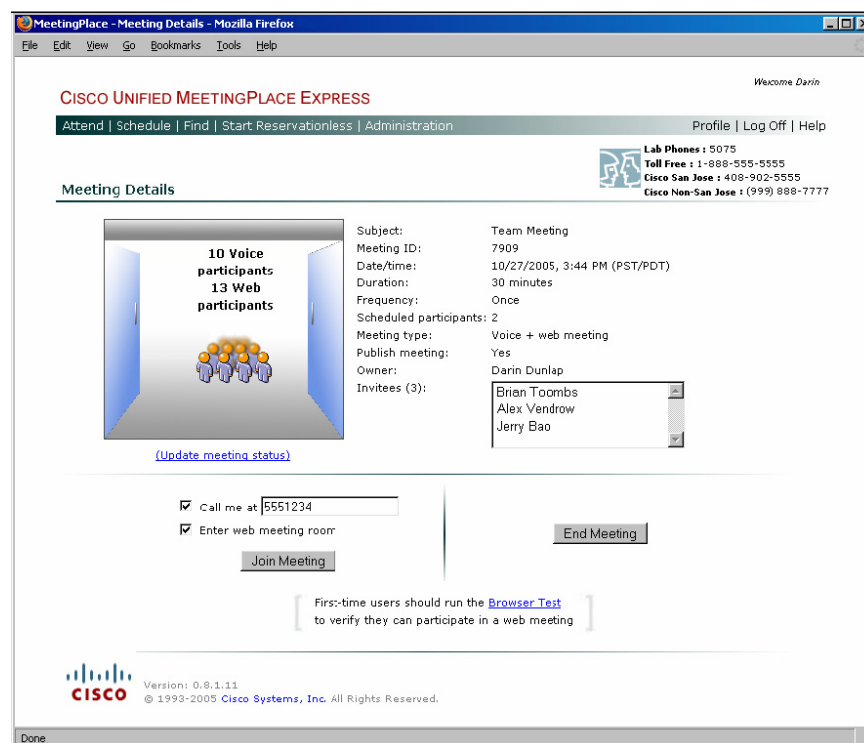


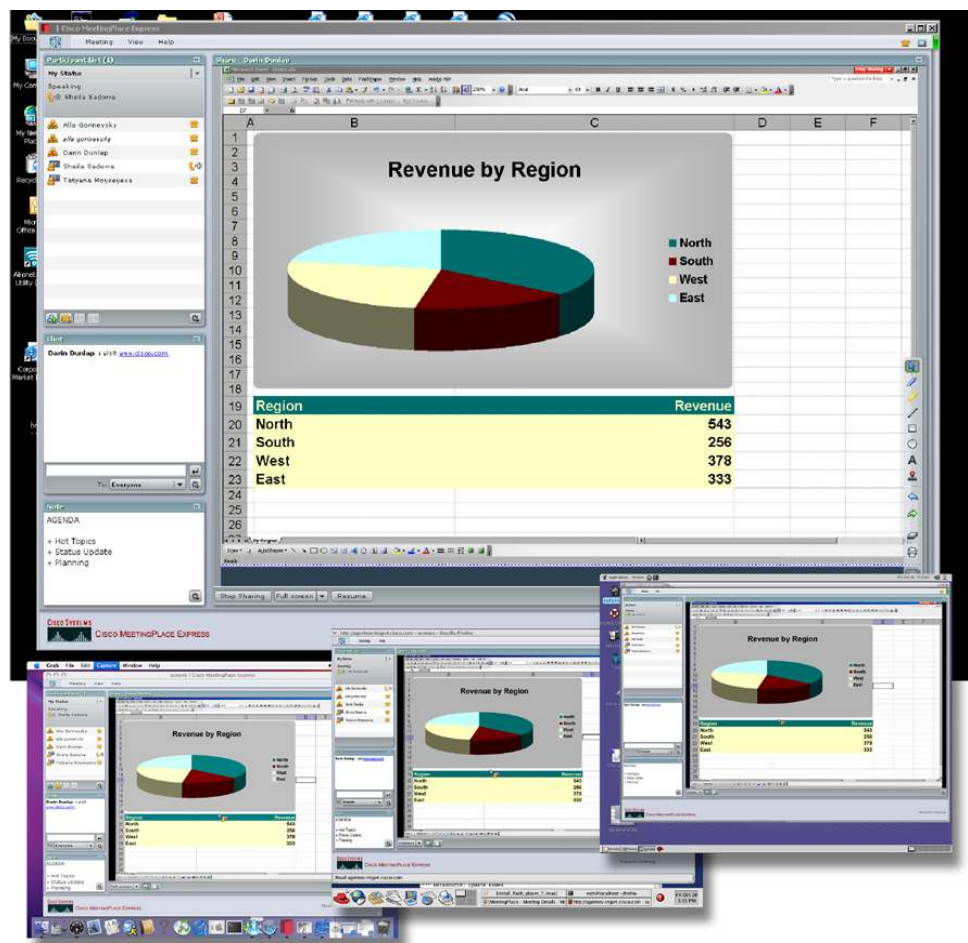
図 3 Cisco Unified MeetingPlace Express の [Meeting Details] ページからの参加



高度な音声/Web 会議

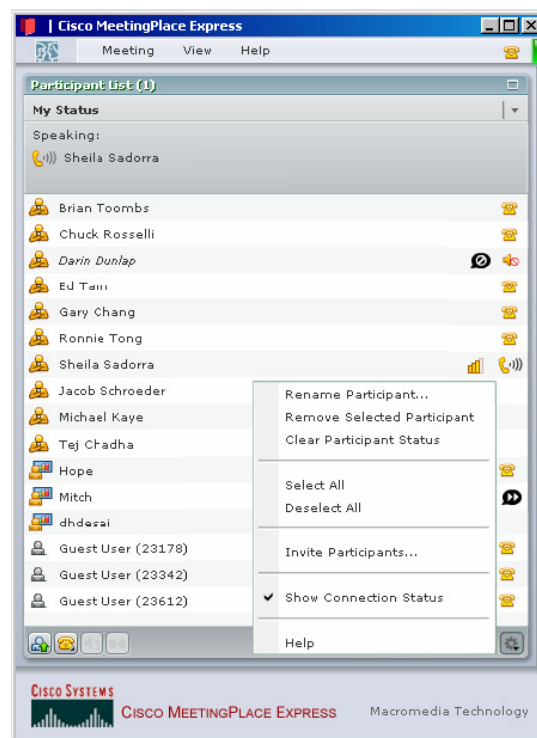
Cisco Unified MeetingPlace Express には、音声と Web の会議機能が統合されており、インタラクティブな会議およびプレゼンテーションに適しています。Web 会議は Adobe の Macromedia Flash テクノロジーで構築されており、確実にすばやく会議に出席できます。また、会議の管理がしやすいようにインターフェイスはシンプルな構成になっており、画面で他のアプリケーションと一緒に表示することも、全画面表示にすることもできます。共有コンテンツは、画面の解像度に合わせて拡大縮小できるため、Web 会議室のウィンドウに常に収めることができます。全画面モードでは、コンテンツを最大表示にできます。Windows、Mac、Linux、Solaris のどのプラットフォームでも、一貫したインターフェイスから Web 会議に簡単に参加できます(図 4)。

図 4 どのプラットフォームでも同じ Web 会議インターフェイスで Cisco Unified MeetingPlace Express を利用できる



Cisco Unified MeetingPlace Express の会議管理機能は画期的で、会議の効率が向上します。Web インターフェイスでは、消音または消音解除ができ、会議参加者とその参加方式(音声または Web)の確認、発言者やコンテンツの共有者の確認もできます。適切なレベルの権限を所有するユーザは、他の参加者の消音や参加者の共有レベルを制御でき、ダイアルアウトまたは電子メールの出席依頼によって別のユーザを会議に参加させることもできます(図 5)。

図 5 Cisco Unified MeetingPlace Express の参加者リストと会議の管理



Cisco Unified MeetingPlace Express では、Cisco Unified Personal Communicator を使用するユーザの音声およびビデオ コール の効率も向上します。Cisco Unified Personal Communicator のユーザはすぐに、Cisco Unified MeetingPlace Express で提供されるシンプルな画面共有インターフェイスによってコンテンツを共有できます (図 6)。また、Cisco Unified Personal Communicator 環境では、アドホック Web 会議サポートを追加できるだけでなく、マルチパーティの音声およびビデオ機能も Cisco Unified MeetingPlace Express VT (詳細については、Cisco Unified MeetingPlace Express VT データシートを参照) によって追加できます。

図 6 Cisco Unified Personal Communicator による Web 会議



シスコでは、会議参加者および発言者が表示される Cisco Unified IP Phone インターフェイスも提供しています。会議参加者も、Cisco Unified IP Phone インターフェイスまたはプッシュホンから自身の消音と消音解除、録音の管理、および豊富な機能の利用ができます(図 7)。

図 7 Cisco Unified MeetingPlace Express 対応 Cisco Unified IP Phone



製品アーキテクチャ

Cisco Unified MeetingPlace Express は、音声会議と Web 会議用のソフトウェア ソリューションで、Linux ベースのオペレーティング システムで稼働している Cisco Media Convergence Server 1 台にインストールして使用します。Cisco Unified MeetingPlace Express には、次のような機能があります。

- テレフォニーの統合 — 標準 H.323、SIP、および G.711 をサポートしており、Cisco Unified CallManager、Cisco Unified CallManager Express、およびその他の標準ベースのコール制御システムとの統合が可能になっています。Cisco Unified CallManager 環境では、Extensible Markup Language (XML) 対応 IP フォン (Cisco Unified IP Phone 7940 など) で、XML アプリケーションによる高度な会議機能が利用できます。
- Web 会議へのアクセス — Web 会議へは、Windows、Mac OS、Linux、および Solaris プラットフォームから標準ブラウザ (Internet Explorer、Safari、Firefox など) および Macromedia Flash Player を使用してアクセスできます。HTTPS および SSL による暗号化アクセスも可能です。
- ディレクトリの統合 — Cisco Unified CallManager と統合したり、他の標準ディレクトリ (Microsoft Active Directory など) を使用している Cisco Unified CallManager と統合して、Lightweight Directory Access Protocol (LDAP) ディレクトリを利用したユーザ プロファイルのセットアップや認証ができます。
- Microsoft Outlook および E メールとの統合 — HTTP または HTTPS によって Cisco Unified MeetingPlace Express サーバと通信できるプラグインを使用することで、Microsoft Outlook から会議の設定および参加が可能になります。Microsoft Outlook または Simple Mail Transfer Protocol (SMTP; シンプル メール転送プロトコル) に対応した E メール環境で E メールによる通知ができます。
- ネットワーク管理 — SNMP (簡易ネットワーク管理プロトコル) によってアラームおよびモニタリングが可能です。

Cisco Unified MeetingPlace Express は、次の方法で配置できます。

- 内部ネットワーク — 内部ネットワークに配置した場合、内部および外部 (音声ゲートウェイ経由) の電話から音声会議にアクセスできますが、Web 会議アクセスは、内部ネットワークにアクセスできるユーザのみに限られます。
- ネットワーク エッジ — Demilitarized Zone (DMZ; 非武装地帯) を利用してネットワーク エッジに配置した場合、内部および外部 (音声ゲートウェイ経由) の電話から音声会議にアクセスできますが、Web 会議アクセスは、内部ネットワークまたはインターネットにアクセスできるユーザのみに限られます。

製品仕様

表 1 に Cisco Unified MeetingPlace Express の仕様を示します。

表 1 製品仕様

ハードウェア互換性	<p>Cisco Media Convergence Server</p> <ul style="list-style-type: none"> 音声および Web 会議メディア コンバージェンス サーバ製品番号: MCS-7825-H2-RC1、MCS-7825-I2-RC1、MCS-7825-H1-RC1、MCS-7825-I1-RC1、MCS-7835-H2-RC1、MCS-7835-I2-RC1、MCS-7835-H1-RC1、MCS-7835-I1-RC1、MCS-7845-H2-RC1、MCS-7845-H1-RC1、MCS-7845-I1-RC1、および MCS-7845H-3.0-IPC1 <p>Lite Meeting Room による音声会議のみのメディア コンバージェンス サーバ製品番号: MCS-7825H-3.0-IPC1、MCS-7825I-3.0-IPC1、MCS-7835H-3.0-IPC1、および MCS-7835I-3.0-IPC1</p> <p>完全に同等のサードパーティ製サーバ (http://www.cisco.com/go/swonly) を参照、DVD ドライブが必要)</p>
ソフトウェア互換性 - サーバ	Cisco Linux ベースのオペレーティング システム (システム ソフトウェアに付属)
ソフトウェア互換性 - クライアント	<p>Microsoft Windows</p> <ul style="list-style-type: none"> オペレーティング システム: Windows 2000 Pro (SP2 以降)、Windows 2000 Server Edition (SP2 以降)、Windows 2000 Advanced Server (SP2 以降)、または Windows XP (SP1 以降) ブラウザ: Internet Explorer 5.5 以降、Netscape 7.1 以降、Mozilla 1.6 以降、Firefox 1.0.3 以降 Flash Player: 6.0.79 以降 <p>Apple Macintosh</p> <ul style="list-style-type: none"> オペレーティング システム: Mac OS 9.2 * または Mac OS 10.2 以降 ブラウザ: Safari 1.1 以降、Netscape 7.1 以降、Mozilla 1.2.1 * または 1.6 以降、Firefox 1.0.3 以降 Flash Player: 6.0.79 以降 <p>Linux **</p> <ul style="list-style-type: none"> オペレーティング システム: Red Hat 9 または Red Hat Enterprise Linux 3 以降 ブラウザ: Netscape 7.1 以降、Mozilla 1.4 または 1.6 以降、Firefox 1.0.3 以降 Flash Player: 7.0 以降 <p>Sun Solaris **</p> <ul style="list-style-type: none"> オペレーティング システム: Solaris 9 または Solaris 10 ブラウザ: Netscape 7.1、Mozilla 1.4 または 1.7 以降、Firefox 1.0.3 以降 Flash Player: 7.0 以降
プロトコル	<ul style="list-style-type: none"> H.323 v4 SIP (RFC 3261) G.711 Real-Time Transport Protocol (RTP; REC 3550) RFC 2833 [RTP Payload for Dual Tone Multi-Frequency (DTMF) Digits] Session Description Protocol (SDP; RFC 2327) IPv4 LDAPv3 SMTP; RFC 2821 SNMP バージョン 1、2c、および 3 HTTPv1.1 SSL バージョン 2 および 3 (オプション、Certificate Authority [CA; 認証局] から取得した証明書を提示) Network Time Protocol (NTP) バージョン 3 と 4
MIB	MIB-2、SYSAPPL-MIB、CISCO-CDP-MIB、および CISCO-LATITUDE-MIB
ネットワーク接続および帯域幅	<p>サーバ: 100 Mbps 以上のイーサネット接続 × 2</p> <p>クライアント</p> <ul style="list-style-type: none"> 電話: G.711 では各方向に少なくとも 84 kbps の利用可能帯域幅を必要とします。圧縮コーデック (G.729 など) を G.711 にトランスコードする場合は、これより少ない帯域幅で済みます。 Web 会議: 56 kbps 以上のモデム接続 ***

* Mac OS 9.2 の場合、対応ブラウザは Mozilla 1.2.1 のみです。Mac OS 9.2 からは画面の共有はできません。

** このプラットフォームからは画面の共有はできません。他のプラットフォームから共有している画面での表示およびコメントは可能です。

*** モデムを使用する場合は、利用可能な帯域幅について競合する他のアプリケーションを同時に使用しないでください。

システム容量

Cisco Unified MeetingPlace Express では、音声会議と Web 会議の機能の多様な組み合わせが可能で、さまざまな記録容量も備えています(表 2)。会議の最大サイズは、同時ユーザ数にすると音声会議で 200 人、Web 会議で 200 人です。システムは、N/2 個の会議に対応できます(N はシステムの容量)。

表 2 システム容量

製品番号	音声会議の容量	Web 会議の容量	記録の容量
MCS-7845-H2-RC1、MCS-7845-H1-RC1、 MCS-7845-I1-RC1	20 ~ 200 同時ユーザ *	6 ~ 200 同時ユーザ *****	3200 時間の音声記録 **
MCS-7835-H2-RC1、MCS-7835-I2-RC1、 MCS-7835-H1-RC1、MCS-7835-I1-RC1	20 ~ 120 同時ユーザ *	6 ~ 120 同時ユーザ	2000 時間の音声記録 ***
MCS-7825-H2-RC1、MCS-7825-I2-RC1、 MCS-7825-H1-RC1、MCS-7825-I1-RC1	20 ~ 40 同時ユーザ *	6 ~ 40 同時ユーザ	2000 時間の音声記録 ***
MCS-7845H-3.0-IPC1	20 ~ 180 同時ユーザ *	6 ~ 120 同時ユーザ	3200 時間の音声記録 **
MCS-7835H-3.0-IPC1、MCS-7835I-3.0-IPC1	20 ~ 120 同時ユーザ *	6 同時ユーザ	150 時間の音声記録 ****
MCS-7825H-3.0-IPC1、MCS-7825I-3.0-IPC1	20 ~ 40 同時ユーザ *	6 同時ユーザ	150 時間の音声記録 ****

* Lite Web Meeting Room(参加者リストとテレフォニー制御など)の指定の同時ユーザ数に対応

** 144 GB ハードドライブ システムの場合

*** 72 GB ハードドライブ システムの場合

**** 36 GB ハードドライブ システムの場合

***** SSL が有効になっている場合は、120 が最大

機能

音声会議

Cisco Unified MeetingPlace Express の音声会議機能は次のとおりです。

- 最大 3 人の同時発言者のリアルタイム ミキシング
- 参加者別の入力ボリューム(ゲイン)の調整
- 入室と退室の通知:ビープ音と名前の表示、ビープ音のみ、または無音
- 録音と再生(MP3)
- 個別セッション(1 会議につき同時に 9 個まで)
- 会議の自動延長(容量に応じて)
- 会議終了の警告

会議の管理

Cisco Unified MeetingPlace Express には、各種の柔軟な会議管理機能を備えた次のインターフェイスがあります。

- プッシュホン — 音声プロンプトに従ってキーパッドからコマンドや応答を指定するインターフェイス
- Web 会議室 — コンピュータから会議を管理するための Web ブラウザ インターフェイス。Web 会議によってシステムの機能が強化される点については、「Web 会議」のセクションで説明します。
- IP Phone アプリケーション — 対応の Cisco Unified IP Phone に管理機能を表示するための XML アプリケーション

表 3 に、会議の利用と効率向上のために会議中にユーザが使用できる項目を示します。

表 3 会議情報

会議情報	使用できるインターフェイス		
	プッシュホン	Web	IP Phone アプリケーション
ダイヤルイン番号	—	○	○
会議 ID	—	○	○
音声による参加者	○	○	○
Web による参加者	—	○	○
参加者数	○*	○	—
発言者	○	○	○
共有者**	—	○	—
Web の権限	—	○	—
Web 接続ステータス	—	○	—
ユーザ ステータス(挙手など)	—	○	—
記録のステータス	○	○	○

* 音声による参加者

** Web 会議用ライセンスが必要

自分や他人のセッション、または会議全体を管理するために、各インターフェイスから多くの会議管理機能(表 4)が利用できます。

表 4 会議の管理

会議の管理機能	対象				使用できるインターフェイス		
	自分	他人	音声会議	Web 会議	プッシュホン	Web	IP Phone アプリケーション
自分へのダイヤルアウト	○		○			○	○
他人へのダイヤルアウト		○	○		○	○	
E メールによる出席依頼		○				○	
自分の消音	○		○		○	○	○
他人の消音	○	○	○			○	○
音量の調節	○	○	○			○	
会議の記録	○	○	○		○	○	○
会議室の全画面表示	○			○		○	
ポッドの最大化と元のサイズへの復元	○	○		○		○	
アナウンスメントの変更	○	○	○				○
参加者リスト エントリのマージ	○	○		○		○	
参加者名の変更	○	○		○		○	
Web 権限の変更	○	○		○		○	
ユーザ ステータスの変更(挙手など)	○			○		○	
ユーザ ステータスの消去	○	○		○		○	
接続速度の変更	○			○		○	
会議室速度の最適化	○	○		○		○	

会議の管理機能	対象				使用できるインターフェイス		
	自分	他人	音声会議	Web 会議	プッシュホン	Web	IP Phone アプリケーション
会議室画面の解像度変更	○	○		○		○	
他の権限レベルで参照可能な対象の表示	○			○		○	
会議のロック	○	○	○	○	○	○	○
ロックされた会議への入室の制限	○	○	○	○	○	○	
ユーザの強制退室	○	○	○	○	○	○	○
会議の終了	○	○	○	○		○	

Web 会議

Cisco Unified MeetingPlace Express には、次の Web 会議用機能があります。

- 簡単なアクセス — Web ブラウザと Flash Player を使用して、さまざまなプラットフォームから会議に簡単にアクセスできます。
- ファイアウォール対応 — HTTP および HTTPS トンネリング技術により、ファイアウォールに守られた状態で Web 会議に参加できます。
- 接続速度の最適化 — Cisco Unified MeetingPlace Express では、ユーザの選択した接続速度に基づく帯域幅に合わせて Web 会議のパフォーマンスが最適化されます。
- 画面の共有 — 画面のリアルタイム共有により、他のアプリケーション、ウィンドウ、またはデスクトップ全体を表示できます。共有用の各種コントロールは、会議室、オペレーティング システム、および共有アプリケーションやウィンドウから使用できます。
- 柔軟な表示オプション — ユーザに最適なさまざまな方法で、共有コンテンツを表示できます。
 - 表示の拡大縮小 — スペースに合わせて、共有コンテンツの表示を拡大縮小させることができます。
 - 表示のスクロール — 全画面表示で収まらない共有コンテンツは、スクロールして全体を見ることができます。
 - 会議室の表示 — 他のポッドのほかに、共有コンテンツを表示できます。拡大縮小表示またはスクロール表示が使用できます。
 - 全画面表示 — 画面には、共有コンテンツのみが表示されます。コントロールを使用して、参加者全員に対してまたは個人ごとに全画面表示を有効にすることができるだけでなく、参加者自身も全画面表示の切り替えができます。
- コメント — 鉛筆、マーカ、直線、四角形、円、文字、スタンプなどマークアップ ツールを使用して、共有画面で共同作業を行うことができます。コメントの印刷および編集用として、元に戻す、やり直し、色の変更、サイズの変更、移動、削除など、さまざまなオプションがあります。
- チャット — 相手が誰であっても(発言者を含む)、他人に知られないようにテキスト メッセージを送受信できます。文字サイズの指定、チャット相手の選択、チャット ツールが利用できないときにチャット通知が届いた場合の対応、チャット履歴のクリアなどのオプションが利用できます。
- メモ — メモ ツールを使用して、議題の入力やアクション項目の追跡など、会議の参加者全員に読めるように文字を表示できます。文字サイズの変更、文字の配置、複数のメモの作成と利用のためのオプションがあります。

会議のセットアップと出席

次のような会議のセットアップおよび出席に関する作業は、Cisco Unified MeetingPlace Expressで行います。

- 音声会議および Web 会議のセットアップ — 音声会議および Web 会議のスケジュール作成およびスケジュール変更は、Microsoft Outlook および各 Web ブラウザから 1 回の操作で行うことができます。
- 会議のタイプ — Cisco Unified MeetingPlace Express は、次の会議のタイプに対応しています。
 - スケジュール — Microsoft Outlook または Web スケジューリング インターフェイスからあらかじめ会議リソースを予約します。ユーザの代表者に会議のスケジュールを任せられることもできます。
 - 定期 — 一定の間隔で会議を開催します (例: 毎週月曜日)。Microsoft Outlook または Web インターフェイスから設定できます。
 - 継続 — いつでも会議を開催できます。Web インターフェイスから設定可能で、危機管理対策によく使用されます。
 - 予約なし — あらかじめ予約する必要がなく、個人の会議 ID を使用して会議を開催できます。予約なし会議は、Microsoft Outlook、プッシュホン、Web、または IP Phone アプリケーションから開始できます。
 - アドホック Web 会議 — Cisco Unified Personal Communicator からオン デマンドで簡素な画面共有インターフェイスを起動できます。
- E メールによる出席依頼 — Web インターフェイスまたは Outlook で会議を設定すると、Microsoft Outlook カレンダー会議出席依頼を生成することができます。これには、ユーザのカレンダーに会議情報を簡単に取り込める機能も備わっており、システム管理者は内容を詳細にカスタマイズできます。標準の SMTP E メールによって、HTML またはテキスト形式の出席依頼を出席候補者に送信します。
- 柔軟な出席オプション — 会議に出席する場合、次のオプションが利用できます。
 - ダイヤルイン — ダイヤルイン番号および会議 ID を使用して、音声会議に直接ダイヤルインすることができます。
 - ワンクリック出席 (Click-to-Attend) リンク — Outlook または E メール内の URL をクリックすると、リンク先の Web ページに、音声と Web の会議に同時に出席できるオプションが表示されます。
 - Web からの参加 — システムの URL に移動して会議を検索するか、または会議 ID を指定して指定の電話にダイヤルアウトするオプションが表示される Web ページに移動し、Web 会議に参加します。
 - IP Phone アプリケーションからのダイヤルアウト — 対応する Cisco Unified IP Phone を使用しているユーザは、会議を検索するか、または会議 ID を指定してシステムから IP Phone に電話をかけることができます。
 - 検索 — ユーザ プロファイルによって関連付けられた会議を開始するときに、システムから電話をかける場合の一連の電話番号を指定することができます。

運用性

Cisco Unified MeetingPlace Express には、会議管理者向けに次のツールがあります。

- Web 管理センター — ユーザ管理、システム設定、メンテナンス、レポート、モニタリング、インターフェイス設定用のシステム管理機能を備えた Web インターフェイスです。
- ユーザ プロビジョニング — ユーザ プロファイルは、次の方法で作成できます。
 - プロファイルの自動作成 — 統合されたディレクトリで受け入れられる証明書によってユーザが初めて認証されたときに、ディレクトリとの統合 (Cisco Unified CallManager との統合など) によって Cisco Unified MeetingPlace Express にアカウントが作成され、プロファイルが自動的に作成されます。
 - プロファイルのインポート — ユーザ プロファイルを一括してシステムにインポートできます。
 - プロファイルの手動作成 — Web 管理インターフェイスから、プロファイルを手動でシステムにインポートすることができます。
- グループ管理 — グループを作成して、ユーザ プロファイルと関連付けると、同様のタイプのユーザ管理がしやすくなります。
- システム設定およびメンテナンス — システムの設定およびメンテナンスを行うためのパラメータとオプションが数多くあります。
 - 使用に関する設定 — 12 時間または 24 時間表示、参加者のダイヤルアウト、言語設定、パスワードの最小長と有効期限、アラーム ダイヤルアウト、ゲスト ダイヤルアウト、ディレクトリ統合パラメータ、システムの電話番号とラベルがあります。
 - 会議の設定 — 容量管理、オーバーブッキング、会議の最大サイズとデフォルトのサイズ、会議の最長時間とデフォルトの時間、会議 ID 有効回数、会議の延長、会議の警告、会議パスワードの最小長、スケジュール予約の制限、会議および記録の消去、会議 ID の最小長、バニティ会議 ID、予約なしパラメータなどがあります。
 - Outlook プラグイン設定 — Microsoft Outlook から会議の設定と出席を行うための設定パラメータがプラグインに自動設定されています。
 - コールの設定 — H.323、SIP、ダイヤルアウト、会議への直接ダイヤルイン、IP 音声パラメータなどがあります。
 - E メールの設定 — SMTP サーバ、Exchange サーバ、Exchange ユーザ アカウントおよび E メール テンプレート
 - SNMP の設定 — コミュニティストリングおよび通知の宛先
 - ライセンス — ライセンスのインストールと表示
 - バックアップ — バックアップとアーカイブ、ローカルおよびリモート設定、E メール通知
 - E メール警告 — システムに関するメッセージを載せた E メールをグループまたは全ユーザに送信します。
 - 情報のインポート — グループおよび会議の設定情報のインポート (一括更新など)、Cisco Conference Connection からの会議の移動
 - SSL 証明書の管理 — SSL 証明書のインストール、有効化、および管理
- レポートおよびモニタリング — 定義済みレポート、データ エクスポート、モニタリング、およびアラーム用のツールが数多く付属しています。
 - 会議取り消しレポート — 取り消された会議の詳細情報

- 課金レポート — 課金コード別に作成される音声と Web 会議の課金明細
- 使用状況レポート — スケジュール済みと使用済みのリソースを比較した容量の使用状況レポート
- ディスク使用状況レポート — ハード ディスクの使用状況と利用可能なスペースに関する詳細情報
- データのエクスポート — 外部での分析およびレポート作成のためのデータをエクスポート（ユーザ プロファイル、グループ、会議の詳細、ダイヤルアウト活動、会議参加者、参加者の出席と退席、スケジュールリングの失敗など）
- E メール キュー ステータス レポート — キューにある E メール通知のモニタリングと管理用ツール
- メディア統計情報レポート — 会議メディアに関する統計情報
- セッション中モニタリング — アクティブな会議を監視するためのツール
- システム ログ — モニタリングおよびトラブルシューティング用の各種システム ログ
- アラーム — システム アラームの表示とエクスポート
- システム ステータス — モニタリングおよびトラブルシューティング用のシステム ステータスのスナップショット表示
- インターフェイス設定 — 音声プロンプトおよび特定の Web ページについてインターフェイス設定が可能
 - 音声プロンプト — 電話で再生されるカスタム音声プロンプトのインストール
 - カスタム ロゴ — 企業ロゴなどを Web ページに追加
 - 会議のスケジュール ページ — スケジュール ページから利用できるフィールドの設定
 - ユーザ プロファイル ページ — ユーザ プロファイル ページから利用できるフィールドの設定
 - Outlook プラグイン ダウンロード — Outlook プラグインをダウンロードできる Web ページを選択
- 音声プロンプト用多言語サポート — 英語（米国）、英語（英国）、英語（オーストラリア）、フランス語（フランスおよびカナダ）、ドイツ語、日本語および韓国語に対応
- Web インターフェイス用多言語サポート — 英語（米国）、フランス語（フランス）、およびドイツ語

セキュリティ

Cisco Unified MeetingPlace Express には、次のセキュリティ機能があります。

- 専用オンネット (On-Net) システム — 専用の Cisco Unified MeetingPlace Express システムを企業のプライベート ネットワークに統合できます。プライベート ネットワークのユーザだけが会議にアクセスできるようなシステムを構築することにより、セキュリティを高めることができます。
- アクセス認証 — 会議開催者は、参加者に対して会議パスワードという方法を使用できるだけでなく、参加者が会議に参加したり関連記録にアクセスしたりする場合に個別ログインによる認証を求めることもできます。また、Cisco Unified MeetingPlace Express では、ログイン試行に何回も失敗したユーザは自動的に拒否されます。
- 統合型認証 — Cisco Unified MeetingPlace Express は、企業ディレクトリ (Cisco Unified CallManager など) と統合して、システム間の認証の一貫性を維持します。

- 暗号化 — Cisco Unified MeetingPlace Express は、SSL によって暗号化された Web ページと Web 会議トラフィックに対応しています。データベース内のユーザ パスワードは、一方方向ハッシュによって暗号化されています。
- セッション中の会議の運営 — 会議の所有者は、Web 会議の権限変更、入室と退室のアナウンスメントの指定、パスワードの要求、会議のロック、好ましくない参加者の強制退室を行うことができます。

システム要件

表 5 に Cisco Unified MeetingPlace Express のシステム要件を示します。

表 5 システム要件

呼制御システム	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified CallManager 3.3 以降 • Cisco Unified CallManager Express 3.3 以降 • Cisco SIP Proxy Server Version 2.11 以降 • 標準ベースの H.323 または SIP 呼制御システム
QoS(Quality of Service)	音声トラフィック用 Differentiated Services (DiffServ) (RFC 2474、2475) QoS が有効なネットワーク
ディレクトリ	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified CallManager 3.3 以降 • Cisco Unified CallManager 3.3 以降 (Microsoft Active Directory 2000 以降の場合) • Cisco Unified CallManager 3.3 以降 (SunONE Directory Server 5.2 の場合) • Cisco Unified CallManager 3.3 以降 (Netscape Directory Server 4.x の場合)
XML アプリケーションを使用する IP Phone	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified IP Phone 7940 モデル • Cisco Unified IP Phone 7960 モデル • Cisco Unified IP Phone 7970 モデル • Cisco IP Communicator 1.1(5) 以降
アドホック Web 会議をサポートするエンドポイント	Cisco Unified Personal Communicator 1.1 以降
Microsoft Outlook Microsoft Exchange	Microsoft Outlook 2000、2002(XP)、または 2003 Microsoft Exchange 2000 または 2003

発注情報

シスコ製品の購入方法の詳細は、シスコの営業担当者にお問い合わせいただくか、発注方法をご覧ください。または表 6 を参照してください。

表 6 発注情報

製品名	製品番号
Cisco Unified MeetingPlace Express 1.2 SE バンドル、20(音声)6(Web)同時ユーザライセンス	MPE-SE
Cisco Unified MeetingPlace Express スモール パッケージ アップグレード、1(音声)同時ユーザライセンス	MPE-SMALL-1V
Cisco Unified MeetingPlace Express 1.2 ME バンドル、25(音声)6(Web)同時ユーザライセンス	MPE-ME
Cisco Unified MeetingPlace Express ミディアム パッケージ アップグレード、1(音声)同時ユーザライセンス	MPE-MED-1V
Cisco Unified MeetingPlace Express 1.1 LE バンドル、85(音声)6(Web)同時ユーザライセンス	MPE-LE
Cisco Unified MeetingPlace Express LE パッケージ アップグレード、1(音声)同時ユーザライセンス	MPE-LE-1V
Cisco Unified MeetingPlace Express Web ライセンス、1 同時ユーザライセンス	MPE-PLUS1-W
Cisco Unified MeetingPlace Express 言語ライセンス、2 以上の言語	MPE-LANG(=)

製品名	製品番号
Cisco Unified MeetingPlace Express 音声ライセンス パック アップグレード、10 同時ユーザーライセンス	MPE-PLUS10-V-UPG=
Cisco Unified MeetingPlace Express 音声ライセンス パック アップグレード、40 同時ユーザーライセンス	MPE-PLUS40-V-UPG(=)
Cisco Unified MeetingPlace Express 音声ライセンス パック アップグレード、80 同時ユーザーライセンス	MPE-PLUS80-V-UPG=
Cisco Unified MeetingPlace Express Web ライセンス パック、10 同時ユーザーライセンス	MPE-PLUS10-W(=)
Cisco Unified MeetingPlace Express Outlook Integration	MPE-OUTLOOK(=)

シスコのサービス

シスコとパートナーは、シスコのライフサイクル サービスの考え方を活用して、シスコ ユニファイド コミュニケーション システムをサポートするための幅広いエンドツーエンド サービスを提供しています。これらのサービスは、IP コミュニケーション ソリューションの構築、運用、および最適化に効果のある手法を基にしています。たとえば、早期段階に計画サービスおよび設計サービスを活用すると、厳しいスケジュール要件を満たすことができ、導入作業中のネットワークの停止を最小限に抑えます。運用サービスを使用すると、専門家の技術サポートによって通信の中断リスクを軽減できます。最適化サービスを使用すると、ソリューションのパフォーマンスが向上し、運用効率が高まります。シスコとそのパートナーは、耐障害性の高い統合型ネットワークの構築および維持に役立つシステムレベルのサービスおよびサポートを提供し、企業ニーズに対応しています。

関連情報

Cisco Unified MeetingPlace Express についての詳細は、以下の URL を参照してください。

<http://www.cisco.com/jp/product/hs/iptel/mpe/>

©2007 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc.またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0701R)

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂2-14-27 国際新赤坂ビル東館

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先(シスコ コンタクトセンター)

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

0120-092-255 (通話料無料)

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

お問い合わせ先